

# バンガロー

キャンプの醍醐味は  
なんとっても川あそび

「ヒヤ〜!!冷たい」川に下っていき、水に足をつけた時に、誰もが「冷たい」という感覚の言葉に、うれしさか、2重にも3重にも重なった叫びとあの笑顔。最高ですね! 思っていたより、少し寒かったけど「ジャバジャバ」遊ぶ子ども達はなんのそのという感じですよ。でかいひきガエルをみつけて、お腹に抱いてみたり、一緒に水につかってみたり、菊分のように……。川べりを掘って、温泉の様にしてみたり、とってもらった魚をいけすを作って放してながめたり、……



今年初めて持ち行ったライフジャケットが、上流に行くと高学年だけでなく中流での3年生達にも思われ効果があったようです。「足の着かない所は川川」と言っていた3人の3年生、「本当に遊ぶことを実感するためにお父さんに連れられて、中流へ、「エーッ川川」絶対浮かぶ」とくり返した末、恐る恐る手を引かれて行くと「ホントだ!! 浮かぶよ」それから飛び込みはするし、さらに上流には行乙めし、すっかり川遊びの楽しさを堪能したような笑顔でした。

薄暗い中で、必死で目をこらし、これは〇〇、これは△△と「アツアツ」言いながら荷物を捜したり、片付ける1年生達、初経験の1年生は、イヤにならないようにと、多少おっちょこしいかもしれませんが、2年以上は「ケツビリ

の「アツアツ」と、「まあいいや、のかけんが」一人一人あるようなので、おまかせしただが「ない!!」という事態の時、川を見させて頂いて「アツアツ」の人も、この先輩の中には、ずっと着替えなかつた人もいたの、それと着替えはしていただけでも、いいのかも知れません。

**★ 星 ★ ★ ★ ★ ★**  
高学年の子達に言われて、空を見上げたら 満天の星空でした。  
「ほう 天の川も見えるよと見ていたら、流れ星が2回も流れて、初めて流れ星を見た。と大感激でした。「じーっと見ると、いっぱい見えてくるね」「星、ていいよね」  
「星見ながら寝たいよね、本当に!!」

昔〜3日前のオニギリの残骸が極の方で着替えた服とまぜまぜになってたこともあったなあ〜 色んな事があるものアツ

## ごぼろごぼろ

川で思いやり遊んだ後は、夕食作り、キャンプ前に練習したものの、川で遊んだ後の疲れたお母さん達「おぼろおぼろ」と言ってくれ、自分の役目をがんばってこなししていました。  
水おこも、お父さん達が見守ってくれている中、薪をくべたり、扇いたり顔も真赤にしてとてもいい火をおこしてくれ、大風呂のものもぐつぐつよく煮えてとてもおいしいごはんができました。

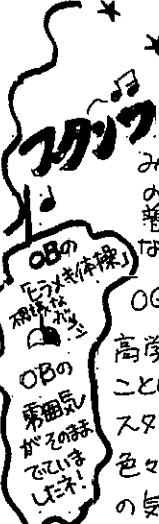
キャンプ中の、色々な場面で、去年と今年と子どもが大きくなったと感じる瞬間が沢山あります。これは、1年を通して大きくなることと共に、例えば「キャンプのこの瞬間が、ぐ〜んと大きくなる種が植えていた時と感ずることも、沢山の時に川あそびはそれとらばい感じます。清津峡の川は、本当に、色々な遊びの可能性もいっぱい含んでいて、大胆な遊びができる所から、ゆったり遊べる所まで。(もちろん、こんな状況を作ってくれるお父さん、お母さん達の存在がとっても大きいのですか。)

1年の時、川が恐くて、友達のように浮輪で流れてくても、勇気が出ず、2年に「今年はやってみよう」と友達や横で「大丈夫、一緒に行けば平気」とたくさん勇気をくれて、「いざ!!」「流れた!流れた!」それから2年のキャンプの2日目、3日目は、もうどっこして3年目の今年、中流の深い中へ入ると(●)ライフジャケットを身につけて、「今年は魚をみたい」と来た。そして初めは魚のいる所は、岩の暗い所で流れもゆるくあり、やはり、もぐるのは、恐いと躊躇していたのですが、(●)や同川の子達が「いた!いた!泳いでる、いっぱいいるよ。」と叫ぶので

10年ぶりぐらいに滝まで行きました。中学生達に「死ぬや」と言われたけど、お父さん達が張ってくれたロープのおかげで、大丈夫でした。ロープを張ってくれたお父さん達が「高学年の子も大胆な川遊びで楽しめて良かった」と言っていました。みんなが楽しめるキャンプを11つも考えてくれるお父さんお母さん本当にありがとうございました。

ムズムズとまたあの勇気が湧いてきたように、(●)の手をきくとにぎりかかると顔をつけ顔とあげると「いた!いた!」(●)を見つけた、お早いよ」と歓喜の叫び。

魚をみた後の、川流れは、「魚が水中で、こんな感じで、いつも気持ちいいだろうな〜」と頭の中を思うだけじゃなく、身体でいっぱい感じたかも…川あそび 最高!!



1年〜3年のグループ全体のスタンツ。みんな、ドキドキしていたようで、1年生の男の子も胸をおいて「キャンプする〜」普段では、着るものない、芸能人のような衣装を着て、おどろおどろと踊る表情は最高かっこいい、かっこいいです。

OG達のスタンツ  
高学年のスタンツは、おぼろ、自分達で考えることになっていきます。だから1人1人、学年毎のスタンツへの思い入れも様々、好き嫌いも色々、4月から話題になっていて、学年同士の気遣いや、気遣いも色々でした。キャンプ場でも色々あったようで、(●)もその時は、「スタンツはスタンツ、ご飯作りはご飯作りだからやることはやろう」と言っていました。でもさすがOGのスタンツはうまかたよね、どうしてあんなにうまいの?とうらやまくなる位、みんなで踊ったからきっとみんな水に流れてしまったのでしようね、きと、(●)は思っています。

## ナツノシズメ

いやー、みんなよく行、たなと感心!!  
行く前は、先頭と後ろは恐いと並び順で「アツアツ」ガクガク、そこで中学生達には言っておいたんです。「いや、真中に居た、地面から音がでて来てつかまれるかも」言ってから何か本当にありうらやま〜ッ  
白い物、黒い物…じと黙ってる、これいもんですよね…